

令和3年度第4回藤沢市立学校適正規模・適正配置検討委員会  
会議録（案）

期日：2021年12月23日（木）14時00分～15時32分

場所：藤沢市役所本庁舎3階 3-3会議室

出席者（敬称略）：

【委員】

藤井 佳世  
新海 政雄  
村上 尚  
鈴野 達也  
河内 幸恵  
三浦 孝一  
志水 敦子

【市職員】

松原 保 教育部長  
峯 浩太郎 教育部参事  
藤田 健司 教育総務課 主幹  
安西 美知代 教育総務課 上級主査  
近 尚昭 学務保健課長  
木村 千波 学務保健課 課長補佐  
坪谷 麻貴 教育指導課長  
中村 田 教育指導課 指導主事  
西山 勝弘 学校施設課長  
木下 尊人 学校施設課 課長補佐  
神谷 忠良 学校給食課長  
青木 武彦 企画政策課 主幹  
岡本 竜馬 スポーツ推進課 課長補佐  
小野 洋 青少年課 課長補佐  
小川 高司 都市計画課 主幹

（欠席者）

【委員】

渡邊 泰典  
稲垣 景子  
土居 秀彰

【市職員】

伊藤 雅浩 教育総務課長  
菊地 誠 学校給食課 課長補佐  
山之内 雄臣 福祉総務課 主幹

事務局

検討部会員

一般傍聴者：8人

※渡邊委員長欠席のため、藤沢市立学校適正規模・適正配置検討委員会設置要綱  
第5条第4項に基づき藤井副委員長が委員長の職務を代理する。

1 開会（藤井副委員長）

2 議題

(1) 第2回及び第3回藤沢市立学校適正規模・適正配置検討委員会会議録(案)の確認について

藤井副委員長	事務局から説明をお願いしたい。
教育総務課 藤田主幹	資料1及び2参照 前回会議で会議録の確認ができなかったため、確認をお願いしたい。
	(修正なし)
藤井副委員長	修正なしのため、会議録案の内容で了承する。
議題(1)終了	

(2) 「藤沢市立学校適正規模・適正配置に関する基本方針(素案)」についてのパブリックコメント実施結果について

藤井副委員長	事務局からの説明をお願いしたい。
教育総務課 藤田主幹	資料3及び4参照 市議会及びパブリックコメントで提出された意見の一覧が資料3。これらの意見に対する修正(案)を検討部会で作成したので、確認をお願いしたい。素案を修正することとした内容については、一覧表のセルに色を付けている。 パブリックコメントの意見については、意見を10区分に分類し、整理した。 意見の区分「7 複数の項目に関すること」の具体例はP4のNo.20を参照。「複数の項目に関すること」とし、具体的には、通学区域・学校規模・少人数学級と表示した。  P1のNo.3「時限的な分校の設置」の文言を追加することとした。 P2のNo.1「子どもたちの目線に立って」の文言を追加することにした。 P2のNo.2、No.3は、今後の参考とする。 以下、同様に整理した。  資料4は、今後ホームページに掲載する実施結果(案)で、P2の6(3)は、提出された意見の反映結果の表で、P3以降は資料3を箇条書きにまとめたもの(意見の区分・意見の概要・市の考え方・意見の反映区分)。 P3の「1 基本方針全般に関すること」は、資料3で説明のとおり。 P3の「3 学校規模に関すること」は、それぞれ意見に対する

	<p>考え方を記載。</p> <p>P3の「4 支援教育の推進に関すること」は、今後、特別支援学級の設置スケジュールが未定のため記載できず。</p> <p>P3の「6 小中一貫教育の検討に関すること」は、小中一貫教育を検討する場合には、基本方針のP22に記載しているとおりの、適正規模・適正配置の取組とは別の視点で検討が必要。</p> <p>P3の「8 表記方法に関すること」は、意見のとおりのわかりやすい表記に修正する。推計の記載は本市の様々な計画が2040年を一区切りとしていることなどから2040年までとする。</p> <p>P4の「9 個別の学校に関すること」は、基本方針ではなく、実施計画の中で検討する。</p> <p>P4の「10 その他」は、基本方針に関することではなかったため、今後の参考とする。</p> <p>資料3「意見に対する対応の案」と資料4の記載内容について、本日、委員に確認をお願いしたい。</p>
藤井副委員長	<p>本日欠席の稲垣委員から意見を預かっているとのことなので、事務局から説明をお願いしたい。</p>
事務局 藤田主幹	<p>稲垣委員から預かっている意見は次のとおり。</p> <p>(意見)</p> <p>資料3について「市議会からの意見1と4で異なる対応なので、まとめて示した方がよい。」</p> <p>(意見に対する回答)</p> <p>市議会での質疑・答弁の結果を掲載したもの。この点は修正せずにこのままにしたいと考えている。</p>
村上委員	<p>資料3「議員からの意見」P1のNo.1とNo.4。GIGAスクール構想についての市の考え方は統一した方がいいと思う。</p> <p>資料3のP5のNo.24。データの整合性をきちんと示した方がいいのではないか。</p>
事務局 藤田主幹	<p>1点目については、市議会の議事録を確認し、質疑など全体の流れを確認する。</p> <p>2点目については、過去の児童生徒数推計を確認したい。修正なしとしても、もう少し細かくコメントができるように確認する。</p> <p>資料3はあくまでも検討委員会の資料(公開資料)。パブリックコメントの結果として公表するものは資料4のみである。</p>
藤井副委員長	<p>パブリックコメント見て、子どもたちの教育環境の充実を望む市民の方の意見が強いことがよく分かった。</p> <p>資料4のP1は、定型文とのことだが、P1に「実施計画でさらに詳細を検討する予定である」旨、記載することを検討してほしい。</p>

事務局 藤田主幹	検討する。
藤井副委員長	意見等の反映区分「3 実施計画で検討する」をきちんと伝えられるといいと思った。例えば、「6 意見等提出の状況」の所で、「今後実施計画で検討していく」と伝えられればよい。
三浦委員	予想はしていたが小規模校・小中一貫など、統合に関して意見が多く寄せられた印象。今後のコミュニティスクールを進めていくにも力になる意見。寄せられた意見にこたえる理念をしっかりと持つことが大切と感じた。
藤井副委員長	例えば、資料4のP3以降「市の考え方」の所の説明に理念などを加えるのはどうか、という意見でよいか？
三浦委員	「子ども目線」とてもいいこと。教育現場はいつもそこがスタート。そういったことがしっかり説明できることが大事である。
藤井副委員長	資料4のP3以降の「市の考え方」に「子どもの目線」に立った観点から、今一度表現を検討することは可能か？
事務局 藤田主幹	次回委員会の前の部会で確認する。
議題 (2) 終了	

(3) 「藤沢市立学校適正規模・適正配置に関する基本方針（最終案）」について

藤井副委員長	事務局から説明をお願いしたい。
事務局 藤田主幹	資料5参照 素案からの修正部分に下線を入れた。 P1は、検討委員会目線の文言に修正。 P2は、表現の修正。 P7は、指針の名称の時点修正。湘南地域の具体的自治体名を追記。 P12、P13は、表の下部に注意書きを追記。 P21は、文言の修正。 P23は、表現の整理。 P32は、大規模校のデメリット部分の追記。(メリット・デメリットの数の均衡を図った。) P38以降は各地区の資料で「使用可能教室数とは」の注釈の追加及び隣接する学校間の距離の追記。 お気づきの点があればご発言をお願いしたい。
藤井副委員長	本日欠席の稲垣委員からのコメントについて事務局から説明をお願いしたい。
事務局 藤田主幹	稲垣委員からの意見は次のとおり。 (意見)

	<p>P5～P6 にかけて、過大規模校・過少規模校の学校規模の目安がわからないので、説明が必要と感じた。P16 の説明をここに置くのも選択肢ではないか？</p> <p>(意見に対する回答)</p> <p>P5 は「2 学校の現状と課題」の中での説明文。P16 「学校規模の目安」は「学校適正規模・適正配置の基準」として設定したもの。意味合いは違うが、規模の考え方は異なるものではないので、意見を預かりたい。</p> <p>(意見)</p> <p>P6 の資料 4 「学校規模別一覧」とあるが、規模別に整理されていないので、「地区別一覧」なのでは？</p> <p>(意見に対する回答)</p> <p>「(3) 過大規模校・過少規模校の状況」の資料としての一覧なので、意見のとおりタイトルを変えるのか、掲載する表を規模別に並び替えるのでもよいかもわからない。事務局で預かりで、検討したい。</p> <p>(意見)</p> <p>P23 は、「指定避難所」ではなく、「指定避難所や指定緊急避難場所」の方がよい。</p> <p>(意見に対する回答)</p> <p>基本方針の後半は参考資料として各地区の情報を掲載しており、各校の「指定避難所・指定緊急避難場所」と掲載していることから、P23 についてはご意見のとおり修正する。</p> <p>(意見)</p> <p>P31 の「大規模校のデメリット」で、「地域によっては交差点が子どもたちであふれかえり、地域からのクレームにもつながる。」について、論旨が飛躍している印象なので、「地域によっては交差点が子どもたちであふれかえり、交通安全面での危険が増大する。また、地域住民等の通行の妨げになり、クレームにもつながる。」といった表現が適切ではないでしょうか。参考文献の引用でしたら、このままで結構と思います。</p> <p>(意見に対する回答)</p> <p>参考文献の引用ではなかったように記憶しているが整理したい。</p> <p>(意見)</p> <p>P38 以降の各地区別資料「学校位置図」縮尺を入れるか、「隣接する小中学校間の直線距離」とした方がよい。</p>
学務保健課 木村補佐	委員ご指摘の通りに修正したい。
新海委員	P30～P31 の「学校規模に起因するメリット・デメリット」の記載について、デメリットの方がだいぶ多いように感じる。

事務局 藤田主幹	事実であれば仕方がない部分もあるかと思うが、検討する。
新海委員	メリット・デメリットの量を等しく書いたほうがいいのでは？デメリットが多いと、市民感覚としては不安を覚えると思う。
事務局 藤田主幹	内容を確認して、重複感がある内容はまとめるなど見せ方の工夫も考え、検討したい。
鈴木委員	P9 の特別支援学級設置について、大清水小は令和 4 年度開校予定とあるが、パブリックコメントの結果の説明（今後の設置予定が決まっていないので記載できない）と矛盾しているのではないか。予定が決まっているのであれば、資料 4 の一覧にも記載してもいいと思う。
事務局 藤田主幹	令和 4 年度設置予定までは決まっているが、それ以降は未定。パブリックコメントの意見は全体の設置スケジュールを示してほしいとのことだったので、令和 5 年度以降は未定という意味で一覧の記載になっている。
鈴木委員	するとパブリックコメント結果の文言はこのままとするか。
事務局 藤田主幹	「令和 5 年度以降の設置校は」の文言を追加したい。
藤井副委員長	鈴木委員の「決まっている設置校までは載せてもいいのでは」との意見を受けて「令和 4 年度は記載しているが、令和 5 年度以降は開設校が未定のため記載できない」とすべきと思うが、令和 4 年度の開設は大清水小の 1 校という理解でよいか？
事務局 藤田主幹	そのとおり。
藤井副委員長	資料 4 の「支援教育の推進に関すること」の「市の考え方」の記載について、再考をお願いしたい。
三浦委員	P31 の「大規模校のメリット」について、「部活動等の設置が可能」とあるが「運営」というニュアンスがよい。大規模校でも、今ある部活をつなぐことで苦慮しているのが実態なので、「設置」とすると誤解を生じかねない。
事務局 藤田主幹	対応し、次回の会議で示したい。
村上委員	P22 の「(4) 支援教育の推進」における「不登校」に関する記述について、前回会議で不登校支援のやり取りがあり、「検討する」と回答されていた記憶がある。「障がいだけ」ということではなくインクルーシブの視点で、様々な支援が必要な子どもたちに向けた教育の場の推進としていくニュアンスとするのか、または項目を分けて表現するのか、といった話があったと思うが、文言の修正はされているのか。

事務局 藤田主幹	P22の(4)の修正部分について、下線漏れ。 第3回の検討委員会における意見を受けて、内容としては修正している。
村上委員	「一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援として」という文言が追加されたということによいか。
事務局 藤田主幹	その部分の文言を追加したが、議事録も含め、もう一度確認する。
藤井副委員長	具体的な修正希望案はあるか。
村上委員	共生社会の推進、多様なニーズへの対応がこの中に含まれているのであればいいと思う。
事務局 藤田主幹	事務局で表現を確認する。
三浦委員	P31の「大規模校デメリット」で、「全教員による児童生徒1人1人の把握が難しい」とある。「大規模だからできない」ということはない。素晴らしい先生はたくさんいる。 「全体がまとまるまでに時間かかる」にも違和感がある。
藤井副委員長	デメリットの1つ目と6つ目はなくてもいいのでは、という意見を受けて、デメリットの記載について、再考をお願いしたい。
事務局 藤田主幹	先ほどの新海委員の「デメリットが多いのではないか」とのご意見もあるので、整理したい。
志水委員	「地域の中で子どもが育つ」との意識を市民の皆さんが持っていることを実感できた。 「実施計画で検討」とした内容についても、しっかりお願いしたい。
事務局 藤田主幹	来年度以降の実施計画もしっかりやっていきたい。
鈴野委員	P84の御所見小、中里小から御所見中の距離の記載がないのはどのような理由か。この距離によって適正規模・適正配置を考えるうえで反映させていくと思うが、どのように反映させるのか聞きたい。
学務保健課 木村補佐	パブリックコメントの意見は、隣接する小中学校間の距離で小中一貫の検討(P22(5))との観点で各地区の隣接する小中をピックアップし、距離を記載した。
事務局 藤田主幹	距離に関しては、小中一貫以外にも、P22「(3)通学区域」で「隣接する小学校間の距離が1km以内～」でといった記載もある。
鈴野委員	それぞれの学校間の距離を気にする方もいるだろうから、記載してもいいのかな、と思う。
藤井副委員長	記載するならばすべて記載するか、「隣接する小中の連携を考え

	て記載した」旨、書いてもいいかと思う。
事務局 藤田主幹	地区内の学校間か掲載の意図を記載するなど、どちらがいいか、検討したい。
河内委員	パブリックコメントでは「小規模校統合しないしてほしい。学校は地域活性化のためには欠かせない存在だから」との声があるが、地域活性化のためには市民センターの存在が欠かせない。学校がなくなったとしても、地区の活気がなくなるわけではない。地図に市民センターを入れるといいと思う。
事務局 藤田主幹	技術的には難しいことではない。各地区の「2(2)学校位置図」の表現の見直し含め、対応したい。
三浦委員	P32の「小規模校」の中にある「切磋琢磨の機会が少ない」には違和感がある。 「大規模校」の中にある「集団の切磋琢磨」、「多様な学習・指導形態が可能」にも違和感がある。
事務局 藤田主幹	デメリットの量が多い点の指摘と合わせて検討する。
議題(3) 終了	

### 3 その他(今後のスケジュールについて)

藤井副委員長	事務局から説明をお願いしたい。
教育総務課 藤田主幹	1/17(月) 14:00から。 基本方針最終案を取りまとめたい。
その他 終了	
藤井副委員長	以上で会議を終了する。
閉会	

次回：1/17(月) 14:00 第5回藤沢市立学校適正規模・適正配置検討委員会

以上